

日時：7月20日(土) 14時～17時

会場：同志社大学烏丸キャンパス 志高館 SK110 教室

司会：藤田怜史(岐阜市立女子短期大学) コメントーター：大森一輝(北海学園大学)

第1報告

報告者：南川文里(同志社大学)

タイトル：「歴史としてのアフーマティブ・アクションー「はじまりから終わりまで」の語り方」

第2報告

報告者：吉岡宏祐(徳島大学)

タイトル：「アフーマティブ・アクション擁護論の内実ー企業と大学による議論の分析を中心として」

第3報告

報告者：北美幸(北九州市立大学)

タイトル：「アフーマティブ・アクションと「割当」ーユダヤ系の視点から」

第60回例会は、「アフーマティブ・アクションの歴史的再検討」(以下ではアフーマティブ・アクションをAAと略記する。)をテーマに、同志社大学烏丸キャンパスにて対面で開催された。

第一報告で南川文里氏は、「AAを歴史として考察する」ことをキーワードに、AAが歴史的に目的・取り組みを変化させてきたことに着眼しつつ、AAの始まりから終わりを議論した。まずAAの起点に関し、大統領命令や法といった制度によって確立されたのではなく、アメリカ政治においてリベラリズムが展開していく中で次第に生まれたものであることを述べた。そしてAAの重要な転換点としてバッキ裁判を挙げ、この裁判によって積極的差別是正のためのAAの役割が終結し、多様性の追求を目的としてのAAが位置づけられるようになったことを論じたうえで、グラッター判決によってそれが確立したことを論じた。最後に終着点については、象徴的出来事としてSFFA判決を取り上げたが、その後も続く、直接的に人種に言及しない方法を用いた多様性への取り組みを考慮しつつ、本質的な制度の帰結については疑問を呈した。

第二報告者の吉岡宏祐氏は、アメリカ社会においてAAの支持が後退している中、企業と大学が多様性を重要視し続けている現状に焦点を置き、企業と大学双方における多様性の議論の展開と経済界との関係性を明らかにした。まず吉岡氏は、多くの企業が、多様な人材を抱えることが企業や国に大きな利益をもたらすという主張を繰り返していることや、

大学に関しては、産学連携の観点から経済的利便性に加えて、多文化交流が生徒らにもたらす教育的有益性を考慮し、多様性を促進していることを明示した。また、黒人の雇用を推進すべく、歴史的黒人大学に対して企業による寄付が相次いでいることを示した。しかしながら、これらの動きと同時に、AAの廃止に加えて、企業による人々のカテゴリー別の雇用やプログラムの応募規定等に対する抗議の声が広がっていることを指摘した。このことから、大学や企業の利益を求めた多様性の希求という現象が起こっている中で、AAをはじめ、人種を中心とする人々の属性に沿った雇用や規定の撤廃を求める運動が絶えない現状を議論した。

第三報告者の北美幸氏は、1922年から1926年におけるハーバード大学の入学者選抜方法の変更過程を精査していく中で、これらの変更とこれをもとに誕生した総合評価方式がユダヤ系アメリカ人の入学者数の減少につながった様相を明らかにしつつ、この制度とAAとの関連性を議論した。まず北氏は、1910年代に反ユダヤ主義が教育分野にも波及したことを述べたうえで、大学側とユダヤ人側双方の史料を基に、1922年から1926年における入学者選抜方法の変更は、ユダヤ人学生の激減に繋がったことを議論した。ハーバード大学における一連の選抜は、明確な数値や目標が示されることなく行われてきたことから、ユダヤ人にとって差別的に運用されているという認識が常にあったと結論付けた。最後に、ユダヤ系コミュニティのAAの支持に関して北氏は、過去の差別によって生まれ、現在も続く不平等の是正や多様性の確保といった点においては支持する声もあったが、差別的な選抜方法の運用への懸念は決して終わりがあるものではないことを明らかにした。

これらの報告に対し、大森一輝氏がコメンテーターとして質問とコメントを述べたほか、参加者からも質問が寄せられた。大森氏は、「多様性」という名のもとであれば構わないが、「人種」を考慮し、サポートすることに対してアメリカ合衆国の人々が抱く圧倒的な拒絶感はいかに生まれているのだろうかという点や、現状見受けられる人種的マイノリティに対する差別の是正に対し、何らかのアプローチは取られないのだろうかという点に関し疑問を呈した。そして参加者からは、AAを人種の視点のみから描くことは、階級やジェンダーといった視点が見えなくなってしまうのではないかと、といった意見も寄せられた。

また、例会後は懇親会も行われた。多くの参加者が集い、当日の例会のテーマであったアフーマティブ・アクションに関連する議論を中心に、活発な意見交流の様子が見られた。

文責 一木 優花(東北大学大学院)